

兵庫 県協
保険 医協

西宮 芦屋

支部 ニュース

No. 299

2011・9・25

発行
〒662-0074

兵庫 県協
兵庫 県協
西宮市石劔町十八ー八
連絡先 兵庫 県協
電話 〇七八(三九三)一八〇一

西宮・芦屋支部
大森内科医院内

第17回医療過誤訴訟セミナー

医療の不確実性について理解を

8月27日、西宮市民会館で、大阪大学大学院医学系研究科法医学講座教授の場梁次先生を迎え、第17回医療過誤訴訟セミナー「医療機関におけるリスクマネジメント・診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業の実施と課題」を開催。半田伸夫先生(西宮市・半田医院)が司会を務め、医師・弁護士ら14人が参加した。参加いただいた先生からの感想文を掲載する。



調査分析モデル事業について
スライドを用いて説明する場先生



会場からは質問が相次ぎ、
熱心な議論が交わされた

医師法21条「異状死体等の届け出義務」に対する法医学会のガイドラインに、各学会から医療崩壊につながりかねないとして反対が相次いだ。届出機関として 第三者機関を作るべきとの声に、平成17年9月から診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業が立ち上がった。大阪では病院、遺族の同意のもと、法医、病理、臨床医が解剖、

臨床所見を突き合わせ、その結果を地域委員会が評価する。究明しえた死因を遺族、医療機関に説明するというものである。その目的は死亡原因の究明と再発防止の観点から診療行為を評価し、医療安全向上への提言を行うことであり、関係者の法的責任の追及を目的としない。その後、中央評価委員会です防・再発防止策を検討するというもので全国で137例ある。

今後は、院内調査委員会・医療安全活動から作成された報告書を公正な立場のモデル事業が評価するようなシステムも検討されるべきであるとお話であった。会場からは「医療者としては『異状死』の定義をきっちりすべきである」「医療事故死での遺族感情は、死因調査以前の医療者と患者、患者家族間のコミュニケーションこそ問題がある」などの意見が相次いだ。医療とは人の生死に直接かかわる特殊分野で、いかに適切な医療行為であっても、その結果は不確実なものであることを日本人が理解することが必要であり、そのためにもわれわれ医療者も努力が必要と痛感した。

【西宮市・やまかげクリニック 山陰圭一】

支部納涼会

屋形船で日本の夏を堪能

8月27日、大阪・天満橋で夏の交流企画「屋形船で堪能する日本の夏」を開催。医師や、同日行われた医療過誤訴訟セミナーの講師ら8人が参加した。

幸原久先生(芦屋市・幸原小児科・内科医院)からの乾杯の後、屋形船は大川を2時間かけてゆっくりと周遊した。小雨の降る中だったが、林田英隆先生(西宮市・林田クリニック)の司会で、参加者は次々と移り変わる大川の景色と船内での食事を楽しみながら、日常診療の経験などをざっくばらんに交流。最後は参加者が船内のカラオケで歌も披露し、華やかなお開きとなった。



屋形船で食事やカラオケを
楽しみながら交流する参加者

設立30周年のつどい

西宮・芦屋支部

【日時】 10月22日(土) 15時~

【会場】 西宮神社会館 福・寿の間
西宮市社家町1-17 (阪神西宮駅南へ徒歩10分)

- 会員交流会 (歴代支部世話人、関係団体様との交流) 15:00 ~ 16:45
- 支部設立30周年記念市民公開講演会 17:00 ~ 18:30
【講師】 東京大学・大学院総合文化研究科・連携准教授
「脳を知って 脳を活かす」 池谷 裕二 先生
- 演奏【演者】 ヴィオラ・ダ・ガンバ 西村 喜子 先生
- 懇親会 (「はたごや」阪神西宮駅店・会費3,000円程度) 19:00 ~

設立30周年記念 いも掘り大会 10月23日(日) 13時~14時受付

【会場】 西宮・仲農園 西宮市鷺林寺2-5-12 (甲山墓園バス停すぐ)
【参加費】 300円(1株) ※お問い合わせは 協会事務局 078-393-1803 まで

健康と医療について語り合う会 高齢者の生活習慣病 分かりやすく解説

7月28日に西宮市立用海公民館で「健康と医療について語り合う会」を開催。西宮市立用海公民館活動推進委員会主催の「中高年講座」に話題提供を行ったもので、「高齢者の生活習慣病」をテーマに川野悦司先生(西宮市・川野クリニック)が講師を務め、市民ら37人が参加した。

参加者からは、「糖尿病のこわさを改めて知りました。気をつけて生活しようと思います」「薬の飲み方がよく分かりました」「たばこ、ニコチンのおそろしさを痛感しました」「お話が大変分かりやすく、有意義な勉強会を開いていただき、参考にいたします」などの声が寄せられた。



高齢者の生活習慣病について
分かりやすく解説する川野先生



講演に熱心に聞き入る参加者



講師を務める岩下先生(左)と中島先生(右)



参加者一人ひとりに丁寧にアドバイスを行う



川崎先生(左)と佐々木先生(右)

保険請求事務講習会

レセプトの仕組みよく理解できた

9月10日・11日の二日間、西宮市民会館で協会研究部が主催する「初心者のための保険請求事務講習会(医科)」を開催。一日目は岩下敬正先生(西宮市・岩下内科クリニック)と、中島敏雄(西宮市・中島クリニック)、二日目は川崎史寛先生(西宮市・川崎医院)と、佐々木一郎先生(西宮市・夙川ささきクリニック)が講師を務め、医師・事務スタッフら64人が参加した。

講習会では、まず協会発行の『保険請求事務の要点』をテキストに保険請求事務の基礎を確認。その後、問題集を使い、診療内容を見てレセプトを実際に作成するまでの作業を行った。

参加者からは、「今までパソコンに頼りきっていたため、何気なく入力していたところがとてもよく分かり、今後レセプトを入力するときには今まで以上に考えながら入行っていた作業も、なぜそうなるかを理解できたのが良かった」「実際に自分の手でレセプトを書いてみて、なるほどと思えることがたくさんあり、勉強になりました」「再確認事項がとても役に立ちました」などの声が寄せられた。

世話人会だより

西宮・芦屋支部は8月26日に西宮医療会館で世話人会を開催。8人が参加した。

【報告】

- ① 第31回支部総会(7・23)
- ② 『続・続々英語で診療』出版お祝い会(7・23)
- ③ 健康と医療について語り合う会(7・28)
- ④ 厚労省職員との懇談会(7・30)

【予定・企画】

- ① 第17回医療過誤訴訟セミナー(8・27)
- ② 支部納涼会(8・27)
- ③ 保険請求事務講習会(9・10～11)
- ④ 病診連携勉強会(10・14)
- ⑤ 西宮・芦屋支部設立30周年のつどい(10・22)
- ⑥ 支部設立30周年記念も掘り大会(10・23)
- ⑦ 第28回在宅医療研究会(11・26)
- ⑧ 財政と医療制度の勉強会
- ⑨ 英語で診療#31

※世話人会の日程は毎月第4金曜日です。支部についてのご意見や企画案などをお寄せください。

病診連携勉強会

膝の痛み～予防から最新手術まで～

【日時】 10月14日(金) 14時～16時

【会場】 西宮渡辺病院 4階会議室
西宮市室川町10-22 (JR西宮駅徒歩約15分) TEL 0798-74-2630

【講師】 西宮人工関節センター(西宮渡辺病院内)
福岡 慎一 先生

【司会】 西宮渡辺病院副院長 整形外科部長 佐々木 健陽 先生
※お問合わせは 協会事務局 078-393-1803 まで